

ポリ塩化ビフェニル (PCB) 処理施設の解体撤去

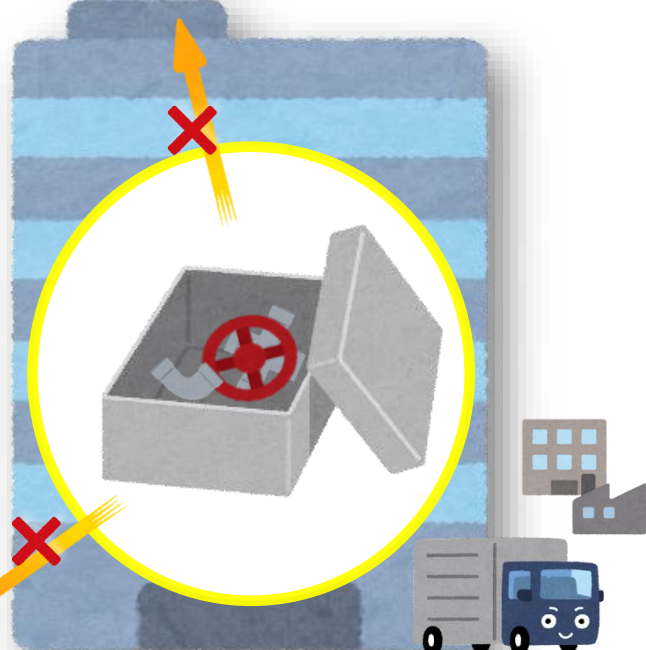
安全安心を第一に実施します。

赤枠内の作業は、建物の外から中に空気が流れるように管理しておこないます。
PCB が外に出ることはありません。

1 配管やタンクの中や外についている高い濃度の PCB を、操業中と同じように JESCO 施設で処理しながら、作業の方が安全に解体できる基準まで取り除きます。



2 配管やタンクなどを解体します。低い濃度の PCB がついたものは、鉄箱に入れたり2重に梱包するなどして施設から、処理先まで運び出します。



3 壁、床、柱など建物の内側に付いている低い濃度の PCB を取り除きます。



4 建物を壊します。



Q & A

Q: ポリ塩化ビフェニル (PCB) とは?

A: PCB は燃えにくい、電気を通しにくいなどの性質を持つ油の一種で、人や動物にとって有害なことが分かり、世界的に製造・使用中止になった物質です。

Q: PCB が建物の外に出ていないかはどうやって確認するの?

A: PCB 廃棄物を処理していた時と同じように、定期的に換排気や周辺を調査します。

Q: 解体撤去のやり方は決まっているの?

A: 有識者により検討いただき、解体撤去工事を安全にすすめるために守るべきことをとりまとめた「JESCO PCB 廃棄物処理施設解体撤去実施マニュアル 共通編」を作りました。

- ※周辺環境の保全の徹底
- ※作業者の安全衛生の確保における万全な対応
- ※PCB を始めとする各種環境負荷物質への適切な対応を実施の方針として、着実にすすめます。



Q: どうやって PCB を取り除くの?

A: 大掛かりな洗浄やふき取りなどをします (除去分別)。施設の操業中も洗浄をしていました。

Q: PCB を取り除く作業は安全なの?

A: 安全に作業できるように、扱う PCB の濃度や作業する部屋の中の状況によって、保護具を使い分けます。こういった保護具が必要かは、マニュアルで決めています。

PCB 以外にも、高いところでの作業や熱中症予防など様々な安全対策を講じます。

管理するレベルに応じた保護具の例⇒



Q: どうして PCB を取り除いたことが分かるの?

A: 解体撤去の段階ごとに、設備などに付いている PCB 濃度を調査 (付着状況調査) して確認します。その濃度が、マニュアルに定めた基準を満たしていれば、次の作業に移ります。

Q: 解体したものはどこへ行くの?

A: 解体したものの PCB 濃度を測定し、PCB が付いていないものは、再資源化します。再資源化できないものは、産業廃棄物処理施設で処理します。また、低い濃度の PCB が付いているものは、環境大臣が認定した施設 (無害化処理認定施設) などで処理します。

(PCB 処理施設解体撤去 HP) https://www.jesconet.co.jp/business/page_00021.html